

## 2 中学校

〔 - 2 - 1表〕

### 主要指標の推移

年 度	学 校 数		学 級 数		生 徒 数		教 員 数 ( 本 務 者 )		1 学 級 当 た り の		教員(本務者) 1人当たりの	
	対前年 増減数		対前年 増減率		対前年 増減率		対前年 増減率		生徒数	対前年 増減数	生徒数	対前年 増減数
	校	学級	%	人	%	人			人			
平成 1 2	531	1	7,950	2.5	261,616	3.1	15,516	2.9	32.9	0.2	16.9	0.0
1 3	531	-	7,774	2.2	255,503	2.3	15,328	1.2	32.9	0.0	16.7	0.2
1 4	531	-	7,576	2.5	247,841	3.0	15,190	0.9	32.7	0.2	16.3	0.4
1 5	530	1	7,491	1.1	242,672	2.1	15,060	0.9	32.4	0.3	16.1	0.2
1 6	530	-	7,418	1.0	238,977	1.5	15,047	0.1	32.2	0.2	15.9	0.2
国 立	3	-	33	-	1,309	0.5	61	-	39.7	0.2	21.5	0.1
公 立	464	-	6,745	1.1	215,423	1.7	13,734	0.3	31.9	0.2	15.7	0.2
私 立	63	-	640	0.2	22,245	0.2	1,252	2.0	34.8	0.1	17.8	0.4

#### (1) 学 校 数

ア 学校数は530校で、前年度と同数である。

〔 -2-1表〕

イ 設置者別では、国立3校（構成比0.6%）、公立464校（同87.5%）、私立63校（同11.9%）である。

〔 -2-1表〕

ウ 市町村別では、大阪市155校、堺市43校、東大阪市29校の順に多く、忠岡町・田尻町・岬町・河南町・千早赤阪村がそれぞれ1校と少ない。

〔統計表11〕

エ 都道府県別では、東京都837校、北海道733校、大阪府530校の順である。

〔付表-5〕

#### (2) 学 級 数

ア 学級数は7,418学級で、前年度より73学級（対前年度 1.0%）減少している。

〔 -2-1表〕

イ 設置者別では、国立33学級（構成比0.4%）、公立6,745級（同90.9%）、私立640学級（同8.6%）である。

〔 -2-1表〕

ウ 学級編制方式別では、単式学級6,731学級（構成比90.7%）、複式学級1学級（同0.0%）、75条学級686学級（同9.2%）である。

〔 -2-2表〕

エ 市町村別では、大阪市2,058級、堺市636学級、東大阪市418学級の順に多く、田尻町・千早赤阪村7学級、岬町13学級の順に少ない。なお、対前年増減数では、泉佐野市3学級、富田林市、熊取町2学級、岸和田市・貝塚市・守口市・藤井寺市・泉南市・能勢町1学級の順に増加し、大阪市16学級、豊中市9学級、河内長野市8学級の順に減少している。

〔統計表11・付表-7〕

〔 - 2 - 2 表〕

## 学級編制方式別学級数・生徒数

年 度	総 数		単 式 学 級		複 式 学 級		7 5 条 の 学 級	
	学 級 数	生 徒 数	学 級 数	生 徒 数	学 級 数	生 徒 数	学 級 数	生 徒 数
	学 級 人							
平 成 1 2	7,950	261,616	7,309	259,793	-	-	641	1,823
1 3	7,774	255,503	7,138	253,621	-	-	636	1,882
1 4	7,576	247,841	6,928	245,883	1	8	647	1,950
1 5	7,491	242,672	6,820	240,585	1	6	670	2,081
1 6	7,418	238,977	6,731	236,798	1	5	686	2,174

## (3) 生 徒 数

ア 生徒数は23万8977人で、前年度より3,695人(対前年度 1.5%)減少している。昭和61年度の46万931人をピークに18年連続して減少している。〔-2-1表・-2-3表・付表-1〕

イ 設置者別では、国立1,309人(構成比0.5%)、公立21万5423人(同90.1%)、私立2万2245人(同9.3%)である。〔-2-1表〕

ウ 学級編制方式別では、単式学級23万6798人(構成比99.1%)、複式学級5人(同0.0%)、75条の学級2,174人(同0.9%)である。〔-2-2表〕

エ 男女別では、男子12万1863人(構成比51.0%)、女子11万7114人(同49.0%)である。

〔統計表12〕

オ 市町村別では、大阪市6万5514人、堺市2万535人、東大阪市1万3559人の順に多く、千早赤阪村155人、田尻町163人、岬町454人の順に少ない。なお、対前年増減数では、大阪市1,216人(対前年度 1.8%)、堺市269人(同 1.3%)、高槻市261人(同 2.7%)の順に減少している。

〔統計表12・付表-7〕

カ 都道府県別では、東京都29万5388人、大阪府23万8977人、神奈川県21万9401人の順である。

〔付表-5〕

キ 1学級当たりの生徒数は32.2人で、前年度より0.2人減少している。市町村別では、交野市36.6人、河内長野市36.2人、泉大津市35.1人の順に多い。〔-2-1表・付表-7〕

ク 教員(本務者)1人当たりの生徒数は15.9人で、前年度より0.2人減少している。市町村別では、交野市18.8人、泉大津市17.7人、河内長野市17.6人の順に多い。〔-2-1表・付表-7〕

〔 2 - 3 表〕

## 学 年 別 生 徒 数

年 度	生 徒 数			
	総 数	1 年	2 年	3 年
	人			
平 成 1 2	261,616	84,410	87,563	89,643
1 3	255,503	83,632	84,230	87,641
1 4	247,841	79,811	83,612	84,418
1 5	242,672	79,345	79,663	83,664
1 6	238,977	79,710	79,323	79,944

ケ 帰国子女数は87人である。〔-2-4表〕

コ 外国人生徒数は4,807人である。〔-2-5表〕

〔-2-4表〕 帰国子女数

年度間	総数	1年	2年	3年	全国総数
	人				
平成15	87	32	25	30	2,211

〔-2-5表〕 外国人生徒数

年度	総数	国立	公立	私立
	人			
平成16	4,807	16	4,501	290

(4) 長期欠席者数(平成15年度間)

30日以上の長期欠席者数は1万2653人で、前年度間より517人(対前年度間3.9%)減少している。理由別では、病気1,991人(構成比15.7%)、経済的理由6人(同0.0%)、不登校8,855人(同70.0%)、その他1,801人(同14.2%)である。

長期欠席者数が全生徒数に占める割合は5.21%で、前年度間より0.1ポイント下がっている。

全国平均は3.52%で、大阪府が1.69ポイント上回っている。〔-2-6表・付表-2〕

〔-2-6表〕 理由別長期欠席者数の推移

年度間	総数	全生徒数 に占める 長欠者率	欠席理由			
			病気	経済的 理由	不登校	その他
	人	%	人			
平成11	13,394	4.96	2,291	92	8,668	2,343
12	13,641	5.21	2,488	41	8,987	2,125
13	14,243	5.57	2,487	27	9,909	1,820
14	13,170	5.31	2,091	13	9,193	1,873
15	12,653	5.21	1,991	6	8,855	1,801

(5) 教員数(本務者)

ア 教員数(本務者)は1万5047人で、前年度より13人(対前年度0.1%)減少している。

〔-2-1表〕

イ 設置者別では、国立61人(構成比0.4%)、公立1万3734人(同91.3%)、私立1,252人(同8.3%)である。

〔-2-1表〕

ウ 男女別では、男子8,371人(構成比55.6%)、女子6,676人(同44.4%)である。〔統計表15〕